

活動再開ガイドライン

《練習再開に向けて》

◇活動場所の環境について

- *活動場所において感染防止対策を行う。(参加人数・出入り口での消毒・換気 等)
- *参加児童、保護者の健康チェック(検温-37度以下・咳などの症状)
- *プレーをしているとき以外(見学時)はマスクをつける。
- *こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- *ソーシャルディスタンスを確保すること。
- *ナンバリング等共有しないこと。
- *タオル、水筒は個人管理させること。(まとめてキャリーなどに入れない)
- *練習・大会・試合前に参加者の名簿を作成し、3週間保管すること。

※JBAから出ている、活動開始のガイドラインを参照。

《大会・練習試合などの会場(校)での対策》

- *体育館出入り口の消毒液と、消毒作業を行うための消毒液を用意する。
- *手洗い場のハンドソープの管理をする。学校のものは絶対に使用しない。
必要であれば、ハンドソープの設置や「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。
- *全てのドア及び窓を開け、3密を避けドアノブを介した接触感染を防ぐ。
- *更衣室は密にならないように、一度に使用する利用者の数を制限する。
- *更衣室では、換気扇を回す、2つ以上のドア、窓を開ける。(換気の徹底)
- *湯茶やお弁当の準備、管理、集約はせず、各自で準備、管理する。
- *席の設置は前後左右1.5~2m間隔をあげ、向かい合わないようにする。
- *ゴミ袋、喫煙所は設置しない。ゴミは各自で持ち帰るようにする。
- *大会・試合終了後2週間以内に参加者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大阪府バスケットボール協会に報告すること。

※体育館等施設設置者のガイドライン・指示が最優先。

《大阪府バスケットボール協会・各地区連盟主催の大会について》

※大阪府が実施する大阪コロナ追跡システムを利用すること。（会場校は、登録を行い、出入り口等にQRコードを掲示すること。登録の仕方は大阪府ホームページ参照）

*大会2週間前からの健康管理一覧表と当日参加者の名簿の提出。

*体育館に入れるのは、当該ゲームの選手・保護者それぞれ15名程度とする。

*指導者で分担して、試合間や退館時に使用した場所の消毒作業を行う。

そのため、次チームの入場は、消毒作業が終わってからとする。

*ハンドソープ、アルコール等、消毒に必要なものは必ず各チームで持ってくる。（学校に備え付けてあるものは絶対に使用しない。）

*出入り口の密を防ぐため、試合前は廊下等に距離をとって待機し、シューズはコート内で履く等する。

*試合の待機時間やミーティングにおいても、3密（密閉、密集、密接）を避ける。

*プレー中以外は、ベンチでもマスクを着用する。ただし、熱中症には十分気を付ける。

保護者、指導者もマスクを着用する。

*円陣、握手、ハイタッチはしない。応援も、声を出さず拍手などにとどめる。

*ケガの恐れがあるため、フェイスガードを使用してゲームに参加しない。

*飲食時には周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにする。

会場外にスペースがあれば、間隔をあけて飲食や次の試合までの待機を行う。

*審判の際は、マスクをしたまま電子ホイッスルを使用してもよい。

*その他感染防止のために大会責任者が行う指示に従う。

※対外試合等で府外への移動については、JBAのガイドラインに沿って行う。

※府県境をまたいで移動自粛が出ているときは移動禁止。

※大阪府内でも自治体によってガイドラインや指示が違っています。それぞれの活動場所の指示に従って活動を行うこと。

2020年8月10日